

## 環境経済学

2 単位 (選択) 3 年 (後期)  
眞弓 浩三・教授 / 社会創生学科

【授業目的】 経済科学における分析的な手法を学ぶ。

【授業概要】 標準経済学の接近法を学習した後、ジョージェスクレーゲンの生物経済学と社会メタボリズムについて理解を深める。

【キーワード】 エネルギー, 環境, 鉱物資源, ジョージェスクレーゲン

【到達目標】 分析的な思考を身につける。

【授業計画】

1. 環境経済学:導入
2. 標準経済学の効率性とは?
3. 標準経済学の鉱物資源の配分原理とその批判
4. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:導入
5. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:消費者選好理論
6. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:エネルギーとエントロピー
7. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:鉱物資源の重要性
8. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:モデルとシミュレーション
9. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:総括
10. 社会メタボリズム:導入
11. 社会メタボリズム:エネルギー分析の手法
12. 社会メタボリズム:多階層エネルギー分析モデルの導入
13. 社会メタボリズム:多階層エネルギー分析モデルの理論
14. 社会メタボリズム:多階層エネルギー分析モデルの応用
15. 定期試験
16. 総括

【成績評価】 通常の試験の結果のみで判断する。平常点などというものはない。プロセスよりも結果だけが大切であることを理解せよ。

【教科書】 教科書は指定しない。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220362>

【連絡先】

⇒ 眞弓 (1316, 088-656-7175, [mayumi@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:mayumi@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 月曜日午後。メールであらかじめ連絡してください。)